

運動方針書草案

客觀的諸狀態

(一) 崩壊に類した世界資本主義經濟は最後のモガキとして經濟ブロックの結成と積極的な必死の努力を傾倒して居るにも拘らず、經濟恐慌の嵐は益々彼等の苦惱と矛盾とを曝露し、今や世界資本主義經濟體系は倒壊の前途に當面して居る。

(二) 斯くて經濟ブロック運動の結果としては世界各國は關稅の障壁を高め、

労働者の賃下、餓首、労働強化の強要等の暴壓は假借なく打下され、就業労働者の生活は根底より破壊され失業不安の中に酷使されつゝあり、失業者は街頭に溢れて居る。

(三) 斯くてワシントン條約及ロンドン條約は効力を失ひ、其の結果として各國が激

烈なる建經競争を始め、おそらく軍事費は例年の數倍に膨脹するであらう。

(五) 其の現象として日本に於ける十年度豫算二十二億に對し軍事費は十億を突破し全國費の四十六パーセントを占めるに至らしめた。

労働者及農民の情態

一、國內一般労働者及農民の情態
齋藤内閣以來行はれつゝあるインフレーション政策は、二割の物價高騰を來たし、此の爲めに勤勞大衆は實質に於て二割乃至三割の賃銀値下げと同様な經濟的打撃を受け、更に資本主義の國際的經濟協力の破綻は極度に經濟界の不安を深刻ならしめ、一部軍需品製作關係以外の産業界は極端に疲弊し、極端なる操業短縮、賃下並に労働強化は行はれ、工場閉鎖は續出し失業者増大の結果は生活苦に喘々就業労働者と失業豫備軍との嫉視反目は勤勞階級内部の對立すら引起す如き重大なる社會情勢を現出せしめつゝある。

又一般労働者窮乏の反面、全國人口七割以上を占むる農民の生活慘狀に至つては徒らに非常時を叫び勤勞大衆の困憊を看却せる齋藤内閣の無能に加へ、旱害、冷害、風水害の受

(四)

難を併壓せられ、

(二) 交通労働者の情態

會て他産業に比較して幾分の安定性を持つた交通産業界も陣界的經濟恐慌の結果と、各種交通機關の亂脈とにより急激なる經營困難に陥り、今や交通機關の全面的な變革打開を必要とする危機に當面してゐるのである。特に各都市に於ける路面電車の赤字は、年毎に累加の一途を辿り、東京市電の如きは二億三千萬圓の内外債を持ち、爲替差損金を含む利子は全従業員一萬二千人の人件費總額より多く、實に一千六百萬圓以上に及ぶのである。

斯くて各都市々電の根本的更生策は必然的に緊急必要を迫られつゝあるのであるが、資本主義政治下に於ける市理事者は金融資本間の傀儡として其の負擔の全部を労働者にのみ轉嫁せんとするのである。

東京市電の如き全人件費總額を奪取するも尚且つ利拂ひ全額に満たざる明白なる事實を知りつゝ、狂暴なる搾取と彈壓政策にのみ終始し、一萬二千の全従業員をして生活苦と失業不安の中に戦ひかためてゐる。

組合の任務と活動方針

(一) 序 論

東京市電氣局は矛盾せる、資本主義的經營の行詰りと、大

震災復興事業の負債の打撃、公債利子の年次的膨脹、社會的不況による乗客數の漸減他交通機關の發展等々に依つて極度の財政的破滅に達し加ふるに赤字に次ぐに赤字をもつてする理事者の放漫政策は之れに一層の拍車を掛けつゝある。

昭和八年度豫算編成に當つて市電百年の大計なりとして一千數百名の餓首と二百萬圓の人件費削減を強行せる所謂市電第一更生案も僅か一年の計にもなり得なかつたのだ。

斯くて昭和八年度末に至つては新たな赤字として八百萬圓を算するに至つた。

斯の如く財政的には亂麻の如き状態にあるにも關らず、理事者は常に政治的醜争を事とし、其の結果は立石局長の辭任ともなり、山下局長の就任ともなつたのである。

山下局長就任するや、忠實なる金融資本家の傀儡として其の使命の完成と、併せて自己の政治的生命擁護のための立場から、茲に前古未曾有の大彈壓を強行し來つたのである。

「一萬一千従業員の全員餓首と賃銀半減に依る更改採用」此の大暴案に對しては東交全員を擧げて四十數日に亘る大抗争を敢行して原案の撤回をなさしめたのであるが、賃銀二割減の重壓と、九十五名の犠牲者並に餓首者二十六名他に二三の問題を残して一旦闘争の鋒を納めたのである。

斯の如くして今日迄十數回に亘つて我等の人員整理、人件費削減はなされたのであるが、市電當局の取り來つた彈壓案の總ては、其の因つて來たる財政破綻が、尨大なる公債利子の支拂、他交通機關の發達等にあるにも拘らず、何等其の根